

# チェコで現地学生に講義

## 「話し言葉を巡るワークショップ」

Workshop on spoken language : Czech and Japanese

**国際コミュニケーション学部 丸山岳彦教授**

5月4、5日、チェコ共和国の首都であるプラハ・カレル大学で、チェコ語と日本語の話し言葉を巡るワークショップを開催された。

「Workshop on spoken language: Czech and Japanese」が開催された。企画・運営を務めたのは、国際コミュニケーション学部の丸山岳彦教授。2019年11月に同大学で開催したワークショップに続いて、2回目の開催となった。

チェコ共和国では、プラハ・カレル大学など3大学に、日本語を専攻できる学科が設置されている。



チェコの学生を前に講義する丸山教授(中央)

丸山教授は、今後は、専修大学の学生たちをチェコで日本語を学ぶ学生たちと結び付けたい。オンラインで交流する機会などを設けるつもりだ」と話す。

### 今年度の新役員を紹介



2023年度育友会定期総会が6月3日、生田キャンパスで開かれた。育友会、専修大学役員・教職員ら98人が出席。吉村信子会長が議長を務め、議案を審議。22年度事業報告・収支決算報告、23年度事業計画・収支予算、新役員人事が承認され、新会長に小海祐資さんを選出した。

事業報告では、「支部懇談会」を3年ぶりに55支部49会場で開催できたこと、新型コロナウイルス感染症対策等に伴う学生支援として、3250万円を助成したことなどが報告された。

今年度の育友会主催行事、会員や学生に対する支援の取り組みの詳細は、会報『育友』174号(夏)号に掲載する。

## 育友会定期総会 23年度事業計画を承認

**育友会 新会長**  
小海 祐資さん



参加しているか、学童野球の審判をしているかのどちらか」と笑う小海さん。法学部4年次の長男が小学1年生のときに野球を始めたのを機に、学童野球に関わるようになり、5年ほど前から始めた審判員の活動は今やライフワークに。「野球でも学業でも、一生懸命頑張る子どもたちや若者を支えるのは楽しい」と顔をほころばせる。

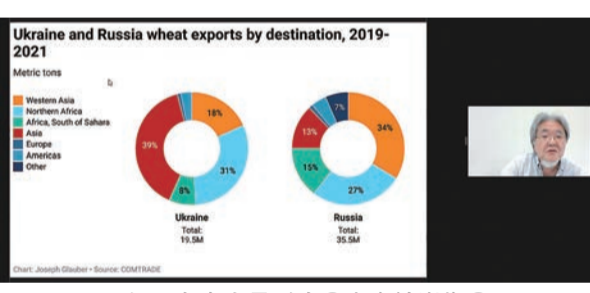
## 頑張る若者をサポート

会長に就任するにあたり、「イベントの対面開催が増えるなど、育友会活動もコロナ前の状況に戻りつつある。一方で、3年間活動が制限された影響は大きく、運営面で克服すべき課題も多い。これまで以上に本部と各支部の連携を強化し、会員全員で活動を盛り上げていきたい」と力を込める。

「土日は育友会の活動にサポートが手厚いと感じている。しかし「受け身の姿勢では何も得られない」と表情を改め、専大生に対して「大学で何を身につけ、その先の道をどう切り開いていくかは自分次第。大学の支援や制度を有効活用してほしい」とアドバイスする。

埼玉県川口市在住。

## 経済学部公開講座 グローバル経済の実像示す

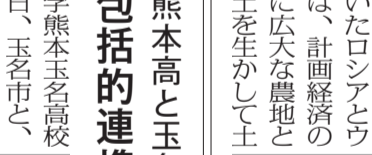


ロシアとウクライナの小麦輸出先の特徴を説明する野部教授

地利用型農業を推進。2010年代以降、収穫量を大きく増やした。野部教授は、両国の農産物貿易に関するデータを紹介し、「世界有数の穀物輸出国が誕生したことは、経済のグローバル化による光の側面」と述べた一方、衰退していった両国の工業を経済のグローバル化による影の側面だと指摘した。

今後の展望として、小麦とトウモロコシの全世界輸出量予測のデータを示したうえで、「日本についても現状に即した食料安全保障政策が求められている」と結んだ。

## 専大熊本高と玉名市 包括的連携協定を締結



専修大学熊本高と玉名市は4月27日、玉名市と、地域に根差したグローバル人材の育成などで協力する包括的連携協定を結んだ。同校で締結式があり、渡辺正隆校長と蔵原隆浩市長が協定書に署名した。

両者は2021年にSDGs人材育成に関する協定を結んでいた。それを発展させた包括協定では、人的・知的資源を相互活用し、教育・文化・スポーツの振興、まちづくり推進などを幅広く進めていく。

## 大雨及び台風で被災された皆様へ

被災された皆様は心からお見舞い申し上げます。

専修大学と石巻専修大学は、被災された学生と保護者の方に対し、安心して学業が継続できるように支援を行っております。以下の担当窓口にご相談ください。

- 生田学生生活課 ☎044-911-1267
- 神田学生生活課 ☎03-3265-6824
- 生田大学院事務課 ☎044-911-1271
- 神田大学院事務課 ☎03-3265-6568
- 法科大学院事務課 ☎03-3265-6891
- 石巻専修大学事務課 ☎0225-22-7712

## ハマのドン

横浜港湾の元締めで政財界に影響力を持つ裏の権力者、ハマのドンこと藤木幸夫氏。御年92歳。横浜市が進めたカジノ誘致阻止に向け、時の最高権力者と全対決した。決戦の場となったのは横浜市長選。藤木氏が賭けた

## 松原文枝 著 『ハマのドン』

「ハマのドン」をさらに深掘りするとともに、映画が制作されるまでを記録した。(集英社・税込1056円)

著者(まつばらふみえ)文学部特任教授。ジャーナリズム研究。テレビ朝日社員。

## 専修人の新しい本

リスクマネジメント視点のグローバル経営

上田和勇 編著

本書は6人の学者と2人の実務家により執筆された。執筆者の専門領域はリスクマネジメント、保険、国際経営など実に多彩である。

本書の第1の特徴はリスクマネジメントの役割を、ステークホルダー、特に社員とその関係者の「2020品」と成長にまで拡張して、具体的に考察している点。第2の特徴はグローバル視点でのガバナンスとオペレーション。

多様な文化との共生が求められる日本とアジア諸国とのグローバル経営において、これら多様な視点から分かりやすく解説する本書は学生、ビジネスマンにも推奨できる良書である。(同文館出版・税込2860円)

編著者(うえだかずお)名誉教授。リスクマネジメント、保険、企業倫理。